

福島医発第1271号(地)

平成20年 9月10日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 横 倉 義 武
(公 印 省 略)

福岡産業保健推進センターが実施する「石綿（アスベスト）関連疾患
診断技術（専門）研修会について

標記研修会につきまして、福岡産業保健推進センターより周知依頼がありましたのでご案内申し上げます。

本研修を受講されますと日本医師会認定産業医制度基礎研修あるいは生涯研修の実地2単位が取得できます。

つきましては、会員各位への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、受講をご希望の際は、別紙申込様式にて福岡産業保健推進センターへ直接FAX（092-414-5239）でのお申し込みとなります。

小郡三井医師会より

産業保健担当理事 毛利康茂
会長 丸山 泉

石綿(アスベスト)関連疾患 診断技術(専門)研修会

【研修対象者】 医師、産業医 (30名程度)
【開催日】 平成20年10月8日(水) 19:00~21:00
【講演会場】 ホテルセントラータ博多 千鳥の間

《講師》

- ・岡山大学附属病院 放射線科 助教 加藤 勝也
- ・岡山労災病院 呼吸器科部長 玄馬 顕一

研修内容

- 1 アスベスト関連疾患の胸部画像の読影(実習) (シャーカステン使用)
 - (1) 石綿肺/鑑別診断 慢性間質性肺炎
 - (2) 石綿肺癌
 - ① 石綿肺を伴う症例
 - ② " 伴わない症例
 - (3) 中皮腫
 - ① 胸膜中皮腫/典型例 非典型例
 - ② 腹膜中皮腫
 - (4) 石綿肺
 - (5) 良性石綿胸水
びまん性胸膜肥厚

*認定産業医研修取得単位

基礎研修	実地	2単位
生涯研修	実地	2単位

石綿（アスベスト）関連疾患診断技術（専門）研修会

趣旨目的

過去に石綿を製造、又は取り扱う業務に従事していた者に、肺がん、中皮腫等の健康被害が多発していることが企業から公表され、石綿に対する社会的関心が急激に高まっております。

石綿による健康障害は石綿粉じんを吸入することにより石綿肺、肺がん、中皮腫等を発症するもので、これらは胸部レントゲン検査等による健康診断により、その症状が明らかになるものであるが、石綿のエックス線写真の読影や肺機能の評価については、その判断が困難な事案が多く、医学的な学識経験者が必要となります。また、石綿関連疾患診断は労働者、離職者及び事業者に多大な影響を与えることから、労働安全衛生法や労働者災害補償保険法等の制度面についても十分に知識が必要となります。

我が国は 1970 年から 90 年にかけて年間約 30 万トンという大量の石綿を輸入していたことから、今後、石綿の暴露による健康障害が一層多発する恐れもある中、これらの必要な知識を持った健診機関等は、決して多くない状況にあります。

労働者健康福祉機構では、健診機関や医療機関の医師の皆様に対し、石綿に対する最新の医学的知見の事例研究や石綿関連疾患診断に当たっての留意事項等について研修会を開催し、石綿に関する適切な診断、医療技術等の普及、被害労働者の援護を図ることを目的としております。

医師、産業医のみなさまに知識を深めていただくために、石綿（アスベスト）関連疾患診断技術（専門）研修会の開催をご案内いたします。

当研修の趣旨をご理解のうえ、みなさまのご参加をお待ちしております。

＊申込先 労働者健康福祉機構 福岡産業保健推進センター

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-9-30

福岡県メディカルセンタービル 1F

TEL 092-414-5264 FAX 092-414-5239

「石綿（アスベスト）関連疾患診断技術（専門）研修会」参加申込書

ふりがな 氏 名			事業所名 (勤務先)		
連絡先	住所	〒 都 道 県			
	TEL			FAX	
該当する番号に○ をつけてください	1. 医師 2. 産業医			所属都市医師会名	
				医師会	

●なお、ご登録いただきました個人情報福岡産業保健推進センターの運営に係る業務に限り使用し、第三者への提供を行わないことをお約束いたします。

申込み先 FAX 番号 092-414-5239

